

経済成長により、希望に満ちあふれる日本へ



三宅伸吾

参議院議員  
(外務大臣政務官)

【目次】

I. 忘れてならないアニマルスピリッツ .....	2
① 皆で、平等に貧乏? .....	2
② 血気が無ければ成長なし .....	3
③ 競争は進歩の母 .....	4
II. 自民党総裁選 .....	5
III. 外務大臣政務官 .....	5
① 失敗すれば国が倒れる .....	5
② 地域担当はアジア、大洋州 .....	6
③ 経済外交を担う .....	11
IV. 議員連盟を相次ぎ創設 .....	12
① バッテリー等の基盤産業振興議員連盟 .....	12
② ラグジュアリー観光振興議員連盟 .....	15
③ 出入国在留管理議連 .....	19
④ 選択的夫婦別氏制度を早期に実現する議員連盟 .....	20
V. ふるさと香川 .....	22
① G7サミット関係閣僚会議 .....	22
② 衆議院選挙 .....	22
③ バイパス開通式 .....	23
④ 市長選挙 .....	23
⑤ 党支部・後援会の総会 .....	24

## I. 忘れてならないアニマルスピリッツ

通常国会が始まりました。新型コロナウイルス禍の一刻も早い収束に向け、政府与党が一体となって感染予防対策に取り組んで参ります。

### ① 皆で、平等に貧乏？

さて、近年、格差問題が世界各国の大きな共通課題となっています。これに関連して11年前、日本経済新聞・編集委員時代の自著に次のような一節があります。当時、自民党は野党で、政権は民主党が担っていました。

足元からまっすぐ上に伸びる螺旋階段を念頭に浮かべていただきたい。この螺旋階段を上に登ることが経済成長だとする。

そして、螺旋階段の真ん中の支柱の左側が社会に不公平感や不満が漂っている状態、右側が社会に公平感などが強い状態だとしよう。

螺旋階段の上から階段のなかの日本の立ち位置をのぞきこむと、民主党は「格差拡大」などをキーワードに自民党から政権を奪取し、不公平感の漂う階段の左側から公平感のある右側に日本を引っ張ろうとしたように見えた。



しかし、螺旋階段を横から見ると、成長の階段を下ってでも、「皆で、平等に貧乏」になって公平感を実現しようとしているように映る。中国から日本に留学、ソフトブレンを創業した宋文洲は「文化大革命期に、ひどい平等主義で中国経済は低迷した。日本が今、中国より社会主義にみえるのは、政

府が中国共産党以上に平等主義を指向しているからではないか」とみる<sup>1</sup>。



### 格差是正と経済成長

2010年に日本を抜き、世界第2位の経済大国となった中国。コロナ禍により鈍化したとはいえ、成長を続けており、10年ほど先には米国の肩に手が届くそうです。経済力を背景に軍事拡張も急いでいます。

そんな中国にあって、習近平国家主席が昨年夏以降、大きく掲げるのが「共同富裕」のスローガンです<sup>2</sup>。鄧小平は「先に豊かになれる者から豊かになりなさい」との「先富論」を打ち出し、改革開放路線で中国経済の発展に大きな貢献を残しました。

この土台のうえに、習主席はゆとりのある社会「小康」の構築を掲げ、これを達成

したと判断したのでしょうか、彼が次に目指す社会像が「共同富裕」です。

中国社会には経済格差への不満がたまっているとの指摘が多く、「共同富裕」はその解消を狙ったものとされます。同国内では不動産や国内IT関連企業などへの規制強化が続き、また急成長したことで榮譽と嫉妬を集めるネット関連企業が教育など社会貢献分野で巨額の寄付に動いています。

2049年、建国100周年を迎える中国。「共同富裕」の達成の先に「中華民族の偉大な復興」を視野に入れているのかもしれませんが。

「共同富裕」を掲げ、格差是正に動く中国。スピードが以前より落ちたとはいえ、今なお経済成長を続けています。格差や社会分断が大きな課題となっている米国でもアップル、アマゾンや電気自動車のテスラなどの新興企業群が経済成長を力強く牽引しています。

### ② 血気が無ければ成長なし

一方、日本はこの約30年間、経済が大きく停滞しています。給付金などで貧困の苦しみを和らげたり、社会保障政策で格差を一時的に解消することはできます。しかし、大事なことは経済成長の階段をのぼりながら、格差是正を考えることです。格差解消、平等主義を強調するあまり、成長の階段を踏み外すようなことでは国力が損なわれます。

<sup>1</sup> 三宅伸吾『Googleの脳みそ 変革者たちの思考回路』（2011年・日本経済新聞出版社）280～281p

<sup>2</sup> 言葉そのものは毛沢東も鄧小平も使っていました。写真：<https://onl.la/yZQ9yLA>

概して、給料が持続的に上がっていると豊かさを感じるものです。企業などに利益が出ていればそれが可能です。恒常的な所得上昇を実現するのは経済成長です。経済成長の推進力は、ある経済学者の言葉を借りればアニマルスピリッツ（血気）であ



り、「不活動よりは活動に駆り立てる人間本来の衝動」です<sup>3</sup>。ハングリー精神、挑戦、野心とも呼べます。どのような制度環境を整えても、これらが枯渇しては経済が大きく回ることはありません。

経済政策の最も大事な役割の1つはアニマルスピリッツを醸成することです。様々な分野で過剰な規制を廃止し、挑戦する民間人の背中を押して競争を促進することです。人の体と同じで、新陳代謝のない経済は成長できないだけでなく、衰退が待ち構えています。絶対に避けるべき経済政策は挑戦を委縮させることです。（写真：国会開会式に参加された天皇陛下のお見送りを終えて@国会正面）

### ③ 競争は進歩の母

不況期やコロナ禍といった異常事態にあっては分厚い財政出動が欠かせませんが、あくまで回復のためです。経済成長を約束するものではありません。企業家精神を喚起する規制改革などを通じ、競争を促進することこそが経済成長を通じて持続的な賃上げにつながります。「競争なるものは、勉強又は進歩の母」（福沢諭吉<sup>4</sup>）です。

経済成長を実現し、希望に満ち溢れる素晴らしい社会を皆さまとともに作って参りたい、そのためにさらに精進を重ねます。

通常国会の施政方針演説で岸田文雄首相は「成長と分配の好循環による『新しい資本主義』<sup>5</sup>によって、この世界の動きを主導していきます。官と民が全体像を共有し、協働することで、国民一人ひとりが豊かで、生き生きと暮らせる社会を作っていきます」と述べました。

そのためには政治の安定を確保しなければなりません。我が国はコロナ禍だけでな

<sup>3</sup> ケインズ（訳・間宮陽介）『雇用、利子および貨幣の一般理論（上）』（ワイド版岩波文庫 2012年）224p

<sup>4</sup> 財団法人 洪沢栄一記念財団『論語と算盤 澁澤榮一 復刻版』298p

<sup>5</sup> 新しい資本主義について、岸田首相は施政方針演説で以下のように説明されました。「経済再生の要は、「新しい資本主義」の実現です。

市場に依存し過ぎたことで、公平な分配が行われず生じた、格差や貧困の拡大。市場や競争の効率性を重視し過ぎたことによる、中長期的投資の不足、そして持続可能性の喪失。行き過ぎた集中によって生じた、都市と地方の格差。自然に負荷をかけ過ぎたことによって深刻化した、気候変動問題。分厚い中間層の衰退がもたらした、健全な民主主義の危機。

世界でこうした問題への危機感が高まっていることを背景に、市場に任せれば全てが上手くいくという、新自由主義的な考え方が生んだ、様々な弊害を乗り越え、持続可能な経済社会の実現に向けた、歴史的スケールでの「経済社会変革」の動きが始まっています。」

く、様々な課題を抱えています。安定した政治基盤があつてこそ、課題を乗り越え、国民の皆さまに安心と希望をお届けすることができます。生き生きとした社会に向け、さらに尽力する所存です。今後とも何卒、ご指導ください。



## II. 自民党総裁選

2021年9月の自民党総裁選。岸田文雄氏が河野太郎氏、高市早苗氏、野田聖子氏を破り、第27代自民党総裁に就任しました<sup>6</sup>。

総裁選で私は河野氏を支持。原発問題を除き多くの政策が近かったこと、また

「突破力」に期待したからです。残念ながら、河野氏は党員票ではそれなりの支持を得たものの、国会議員票を集められず、敗れました。氏の歯に衣着せぬ発言や「異端ぶり」が敗因との声も耳にしましたが、私はそれが改革を生む原動力になると期待しました。

## III. 外務大臣政務官

昨年10月に発足した第1次岸田内閣で外務大臣政務官を拝命しました（衆議院選挙後の第2次岸田政権で再任）。



2021年10月18日、首相官邸で北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの母、早紀江さんと会う機会がありました。外務大臣政務官として、被害者の帰国に向け国際連携を強化することを訴えました（写真左）。

その翌日、衆院選が公示され、北朝鮮は弾道ミサイルを発射しました。怒りが突き上げてきました。



### ① 失敗すれば国が倒れる

林芳正外相を支え、日本外交の一助となるよう身を粉にする所存です。2013年の参議院選挙で初当選した直後のこと。前職である日本経済新聞の編集委員の頃からお世

<sup>6</sup> 写真：<https://onl.la/1PQ1gTr>

話になっている元外務大臣、高村正彦・自民党副総裁（当時）に当選のご挨拶に伺いました。その際、高村氏からこんな趣旨の助言をいただきました。

「あなたの専門の経済。この政策に失敗すると内閣が倒れる。しかし、外交や防衛で失敗すると、国が倒れる。議員バッジをつけた以上、このことは決して忘れないように。」

この助言を心に刻み、これまで経済成長政策と並んで、外交分野に力を注いできました。参議院では外交防衛委員会に長く所属し、委員長や与党筆頭理事を務めたほか、自民党・外交部会長代理も経験しました。2021年衆議院選挙公約の外交部分の起案にも深くかわりました（写真：外務大臣政務官室）。

日本を取り巻く、経済や安全保障環境は厳しさを増すばかり。経済、軍事両面で拡張する中国、内向きの米国、欧州の分断、政情不安と人権問題から抜け出せない多くの発展途上国、そしてコロナ対応など様々な課題が山積みです。



## ② 地域担当はアジア、大洋州

担当する国、地域はアジア<sup>7</sup>、大洋州<sup>8</sup>です。著しい経済成長が期待できる地域で、ワクワクしています。

分野別では経済外交、ODA等の国際協力、気候変動、SDGs等の地球規模課題など。経済外交などは所掌分野として強く希望を出していたものです。

ただ、コロナ禍のため、海外渡航がいくつもキャンセルとなり、とても残念です。代わってオンラインでの国際会議、各国駐日大使による表敬訪問、大使公邸での意見交換等で日々、知見を深めています。渡航が解禁されれば現地に飛び、日本外交を前へ進められるよう研鑽を積んでいます。活動の一部は外務省などのHPで公表されています<sup>9</sup>。

<sup>7</sup> インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、韓国、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス、北朝鮮、台湾、香港、マカオ

<sup>8</sup> オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア

<sup>9</sup> [https://www.mofa.go.jp/mofaj/p\\_pd/dpr/page24\\_001506.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/dpr/page24_001506.html)

- タイ大使公邸（在東京タイ王国大使館 HP より）

## タイ大使夫妻が三宅伸吾・外務大臣政務官ご夫妻をお招きし夕食会を開催

2022年1月4日

2022年1月4日、シントン・ラーピセートバン大使とポーンディー大使夫人は、三宅伸吾外務大臣政務官と麻由美夫人をお招きしてタイ大使公邸にて夕食会を開催しました。今回の夕食会において、両者は新年挨拶をするとともにタイと日本の関係及び協力について意見交換しました。



- ブリンケン米国務長官主催のオミクロン変異株関連会合（令和3年12月22日）

### 報道発表

#### オミクロン株への対応に関するブリンケン米国務長官主催会合の開催



[外務省トップページ](#) > [外務省について](#) > [大臣・副大臣・政務官](#) > [三宅伸吾外務大臣政務官](#)

- 「ベトナムフェスティバル 2021」開会式@上野公園（令和3年12月13日）



- カイ・ララ・シャナナ・グスマン東ティモール民主共和国再建国民会議党首と（令和3年11月22日）



- シャブディン駐日ブルネイ大使による表敬（令和3年11月18日）
- へり駐日インドネシア大使の表敬（令和3年11月17日）
- APEC閣僚会議の実施（結果）（令和3年11月9日）
- ケネディ駐日マレーシア大使による表敬（令和3年11月9日）



- APEC閣僚会議への出席（令和3年11月8日）
- APEC閣僚会議への参加（令和3年11月5日）
- 「世界津波の日」オンライン・イベントの開催（令和3年11月2日）
- シントン・ラーピセートパン駐日タイ大使による表敬（令和3年10月29日）
- フォンサムット・アンラワン駐日ラオス大使による表敬（令和3年10月29日）



- ヴー・ホン・ナム駐日ベトナム大使による表敬（令和3年10月27日）

- ウン・ラチャナ駐日カンボジア大使による表敬（令和3年10月26日）
- カルロス・デル・トロ米海軍長官による表敬（令和3年10月25日）<sup>10</sup>



- G7 貿易大臣第3回会合への出席（令和3年10月23日）

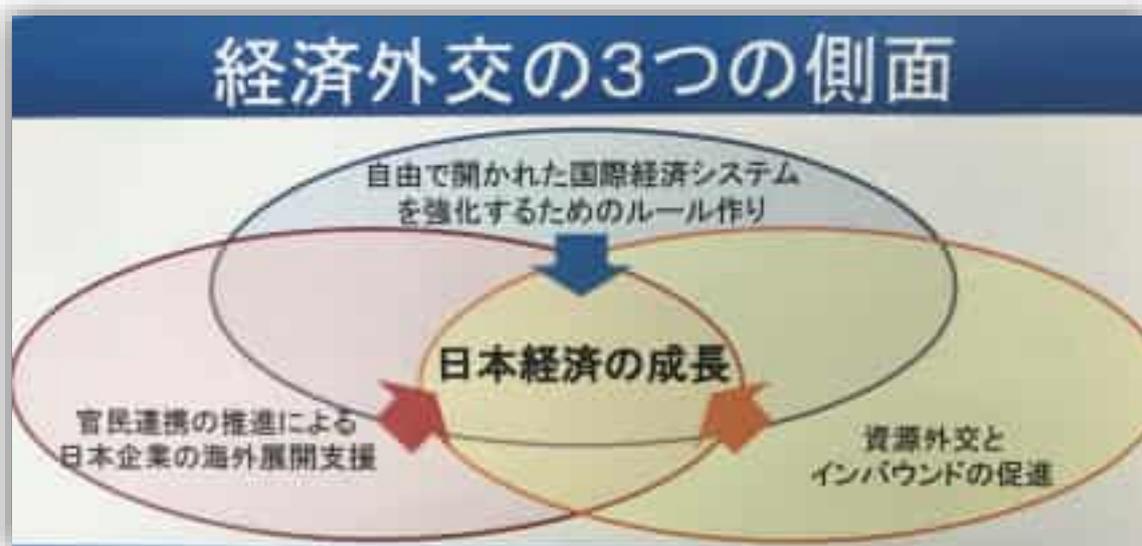


<sup>10</sup> カルロス・デル・トロ長官はキューバ危機の直前に家族とともに米国に亡命。波乱万丈の人生の一端を垣間見ることもできました。

### ③ 経済外交を担う

#### 目標は日本経済の成長

アジア地域などの担当に加えて、経済外交なども所掌しています。目標は我が国経済の成長です。そのためには自由貿易を推進する国際ルール作り、企業の海外進出支援のほか、資源の確保などの経済安全保障、外国人観光客の呼び込み（「インバウン



ド」については議連の活動として後述) など様々な取り組みが必要です。

例えば地球温暖化対策の観点から、重要な資源が石油などの燃料から鉱物へと移りつつあります。電気自動車、スマートフォン、ドローンの時代を迎え、バッテリー（蓄電池）が社会生活に欠かせなくなっているからです。これらの駆動源であるバッテリーには様々な鉱物が使われており、電気自動車は従来車に比べて6倍の鉱物が必要とされます。コバルト、ニッケル、リチウムといった重要鉱物（Critical Minerals）の確保が死活問題になってきたわけです。

#### 中国頼りの鉱物資源

しかし、我が国の鉱物資源の調達は厳しい状況にあります。鉱物の産出国をみるとレアアースは6割が中国です。採掘、分離・精製過程ではウラン、トリウム等の放射性廃棄物が発生するため、環境面から多くの先進国では対応が困難で、中国頼りとなっています。

脱炭素化社会を目指しながら我が国経済の基盤を守るためには、オールジャパンの取組みにより重要鉱物を確保しなければなりません。経済安全保障の観点から、重要鉱物の供給国を新たに探し輸入元を多様にするなど、サプライチェーン（供給網）の強靱化に向け、知恵を絞り汗をかいています。

#### IV. 議員連盟を相次ぎ創設

この1年余りで、国会議員の有志とともに4つの議員連盟を立ち上げました。

- 未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興議員連盟
- ラグジュアリー観光等の振興を通じ、我が国経済と文化の発展を目指す議員連盟
- 出入国在留管理業務の適正運用を支援する議員連盟
- 選択的夫婦別氏制度を早期に実現する議員連盟

議員連盟（「議連」）は特定の政策分野で同じ思いを持つものが集まり、具体的な政策を練り、党や政府に対してその実現を働きかける集団です。野党も参加する超党派の議連もありますが、上記はすべて自民党国会議員だけの議連です。いずれも設立趣意書を起案し、発足後は事務局長を務めています<sup>11</sup>。



##### ① バッテリー等の基盤産業振興議員連盟

2021年12月15日、「未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興議員連盟」（甘利明会長）の総会・勉強会を開催。同年6月に旗揚げしたばかりですが、既に4回目の開催。今回は橋本和仁物質・材料研究機構理事長のご講演に続き、経済産業省より国の支援策についての説明。参加者約200人の盛会となりました。



#### 3000億円近い国の支援を獲得

バッテリーは脱炭素社会実現に向け、世界中で急成長する産業分野ですが、中韓メ

<sup>11</sup> 活動の詳細：<http://www.miyakeshingo.net/activityreport/>

一カーとの競争は熾烈さを増し、欧米でも新興勢が力をつけつつあります。戦略分野のため、海外でも国の支援が広がっており、平等な競争環境を確保するため、日本においてもグリーンイノベーション基金と令和3年度補正予算で計3千億円近い公的支援を確保しました。事務局長として、関係者のご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

### 【蓄電池（バッテリー）分野での国の主な支援策】

#### ▶ グリーンイノベーション基金

次世代蓄電池開発	1200億円強
----------	---------

#### ▶ 令和3年度補正予算

国内製造基盤確保のための設備投資、開発支援	1000億円
系統用蓄電池等導入支援	130億円
電気自動車等の購入補助金	250億円
充電・水素のインフラ整備	125億円

### 激しい国際競争、補助を拡大 充電インフラの整備を

未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興議連の三宅伸吾事務局長（参院議員）に活動の狙いを聞いた。



日本のバッテリー産業は激しく中国と韓国に追い上げられている。世界市場はこれから10倍、50倍に伸びると想定される。世界シェア3割という今のポジションを維持できれば万々歳だ。

中韓だけでなく米欧も莫大な補助金をそそぐ。本来は民間企業が国に頼らず研究開発、生産投資をして国際競争力をつけるのが理想だが、バッテリーは競争の土台を公平にしなければならない。



三宅伸吾参院議員

(2022年1月21日付け 日本経済新聞 夕刊2面)

## 【活動の概要（敬称一部略）】

第1回 設立総会 令和3年6月11日（金）15時～ 党本部大ホール

司会 三宅伸吾

挨拶： 甘利明 安倍晋三

講演：未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興についての提

言

2019年ノーベル化学賞受賞 旭化成(株)名誉フェロー

(国研) 産業技術総合研究所ゼロエミッション国際共同研究センター長

吉野彰先生

第2回 勉強会 7月19(月)15時～ 衆議院第1議員会館多目的ホール

説明：世界のバッテリー産業支援政策（経済産業省より）

- ① 世界のバッテリー関係政策の動向
- ② 日本政府のバッテリー支援策の現状と展望
  - ✓ グリーン成長戦略について
  - ✓ サプライチェーン補助金(設備投資)制度の運用状況、資源確保等
  - ✓ グリーンイノベーション基金のバッテリー分野における検討状況
  - ✓ 世界に伍していくための課題と議連への期待



第3回 勉強会 8月27(金)15時～ 参議院議員会館 講堂

講演：出光興産(株) カーボンニュートラル時代への取り組み

挨拶 代表取締役社長 木藤俊一氏

「全固体」リチウム電池によって広がる自動車バッテリーの可能性

常務執行役員 中本肇氏

超小型EVの開発について 常務執行役員 小林総一氏

説明：経済産業省

グリーンイノベーション基金の蓄電池分野の取組について

製造産業局 藤木俊光 局長

自動車課課長 吉村直泰 課長



第4回 勉強会 12月15(水)12時～ 海運クラブ

講演：「我が国の次世代電池研究の現状と課題、今後の方向性」

物質・材料研究機構 理事長

科学技術振興機構 ALCA-SPRING(次世代電池研究)プログラムディレクター

橋本和仁先生

説明：グリーンイノベーション基金及び令和3年度補正予算と蓄電池産業戦略検討官民協議会について

商務情報政策局 野原諭 局長

## ② ラグジュアリー観光振興議員連盟<sup>12</sup>

海外の富裕層はどこへ旅行して、お金を使っているのでしょうか？米英独仏豪それぞれの国の富裕層が、国外で消費するお金の国別ランキングをみると、日本はこれら5カ国すべてで、ベスト10入りをしていません（JNTO 富裕旅行市場調査）。

地理的に離れているということもあるのでしょうか。とは言え、日本は世界第3位の経済大国であり、寂しい限りです。かつて爆買いという言葉が流行ったこともありますが、我が国は欧米富裕層があまりお金を使わない国です。この寂しい現状を打破し、超富裕層を我が国に取り込めば以下の効果が期待できます。

### 「観光外交」などを推進

- (1) **経済活性化**：宿泊、工芸品、アート等への多額の消費を通じ、日本経済を活性化させる。
- (2) **文化・観光資源への再投資**：我が国の文化・観光資源に一層磨きをかけるには投資が必要であり、インバウンド拡大により、関連企業等がその原資を確保できる。
- (3) **観光外交の推進**：影響力、発信力のある親日派が増えることは世界で日本の存在感を高めることになり、外交力を強化できる。

ただ、我が国ではこの分野での政策が遅れていました。そこで私の発案で、12月7日、自由民主党「ラグジュアリー観光等の振興を通じ、我が国経済と文化の発展を目指す議員連盟」を旗揚げしました。



設立総会には議員のほか省庁・関連企業などから総勢150名を超える方々が参加、会長には河野太郎衆院議員を選出しました。河野会長の就任挨拶に続いて、寺田倉庫株式会社代表取締役 CEO の寺田航平氏が「ラグジュアリー観光大国へ 寺田倉庫の挑戦と政策要望」と題して講演。

その概要は、富裕層向け観光の振興にはアートが極めて有用であること。ただ、ラグジュアリー観光大国に向けた我が国アート分野の課題として、下記の指摘がありました。

<sup>12</sup> 正式名称は「ラグジュアリー観光等の振興を通じ、我が国経済と文化の発展を目指す議員連盟」

- ・ 寄附、償却といった税法の見直し
- ・ 所蔵作品のオンライン・コンテンツ化に向けた著作権法などの見直し
- ・ 世界規模のアートフェア開催に向けた公的美術館施設の活用等の必要性
- ・ 作品の資産評価制度の整備等

これらの要望などを参考として、議連として今後、具体的な政策に落とし込んで参ります。



設立総会では続いて、スーパーヨットと呼ばれる全長24メートル以上の大型クルーザー（写真）<sup>13</sup>、ビジネスジェットの運航関係者から、市場拡大への政策要望が出さ



<sup>13</sup> 上：マイクロソフト・オンライン画像より。下：<https://onl.la/1VZV6La>

れ、その回答が書面をもって政府よりありました。

具体的には、

- ・海外から日本に寄港するスーパーヨットの乗組員にも数次乗員上陸を許可する。
- ・日本に入国後、寄港地ごとに何度も税関検査の対象となっている現状を改め、特殊船舶から沿海通航船への資格変更を認め、外国に向けて出港するまでの間は、特段の税関手続きや検査は不要とする。

(追記) 12月16日、出入国在留管理庁、財務省関税局は上記

2点の規制緩和策をそれぞれ正式発表しました。

- ・ビジネス目的のチャーター許認可申請は3日前の申請でよいのに対し、これまで観光目的の場合には10日前までとなっていた。これを今後、観光目的の外国籍ビジネスジェットについても同様に緩和する(写真<sup>14</sup>)。
- ・運航業者や乗客・乗務員に対するサービスを包括的に行うFBO(Fixed Base Operator)が日本では未整備で、超富裕層の来日拡大の大きな障害となっている点について、国交省より、「FBO導入に向けた検討のため、海外における導入事例の調査を実施している」。



また、観光庁からは、高付加価値なインバウンド観光地づくりとして、「地方の経済・雇用に寄与し、所得を上げるため、全国で10カ所程度のモデル観光地を選ぶことを検討中」との報告がありました。

本議連は今後、活動を積極展開し、日本経済・文化の活性化、観光外交の推進を通

<sup>14</sup> <https://onl.la/a3TeQeA>

じ、世界における我が国の存在感向上に寄与する考えです。



#### サミットに参加

2022年1月26日、神奈川県のリビエラ逗子マリーナで開催された「ハイエンドサミット」に参加。各界の第一人者と海外富裕層を日本に呼び込む方策を議論しました。

私は「特に超富裕層は海外でのインフルエンサー。日本に数多く来てもらえれば、経済活性化だけでなく、日本ファン

の輪を広げて外交力を高めることができる」と述べ、昨年暮れに旗揚げしたラグジュアリー議連の活動を説明。参加者の中に、議連で十分な時間を割いて講演いただきたいと思った方が少なくなく、とても実り多いサミットでした。



### ③ 出入国在留管理議連

2021年12月20日、事務局長を務める「出入国在留管理業務の適正運用を支援する議員連盟」(柴山昌彦会長)として古川禎久法務大臣に、入管行政の運用適正化と法律の不備解消について申入れ(写真:法務大臣室)<sup>15</sup>。不法に滞在する外国人のなかに日本の難民制度の「穴」を突き、母国への送還を拒否している者が少なくありません。早急に制度を見直し、人権に十分に配慮しながら法治国家の基盤を固めたいと思います。また、議連として技能実習や特定技能制度の改革にも取り組んで参ります。



<sup>15</sup> これに先立つ12月8日には松野博一官房長官にも申し入れ(公務のため私は欠席)。  
要望書：<http://www.miyakeshingo.net/news/entry-629.html>



#### ④ 選択的夫婦別氏制度を早期に実現する議員連盟

2021年12月16日、国会内で「選択的夫婦別氏制度を早期に実現する議員連盟」(浜田靖一会長)の第4回総会を開催しました。自民党国会議員101人が参加しており、事務局長を務めています。

この日のテーマは旧姓使用の限界について。海外ともオンラインで結び、旧姓を通称使用することで生じるトラブルなどをヒアリングしました。

翌17日の参議院予算委員会。政府参考人より、①パスポートは旧姓併記が可能となっているが、航空券やビザは戸籍名なので現地で混乱する等、海外での仕事や生活に支障がある②戸籍名と通称を使い分けることによりマネーロンダリングなど悪用の懸念がある③名前は個人の尊厳やアイデンティティー、人権に関わるものであり、旧姓の通称使用では根本的な解決にならない等の指摘があることが紹介されました。このほか、一人っ子同士の婚姻のケースではいずれか一方の家名が絶えるとして、法改正を切望する声もあります。

**困っている方を救うのが政治の役割**

婚姻に際し夫婦同氏を強制する現行制度のため、精神的苦痛を被る国民が少なくありません。事実婚を仕方なく選択しても、税制面など様々な場面で不利益を強いられることとなります。政権与党である我が党は、精神的苦痛や不利益の抜本的解消策を速やかに提示、実現する責務があります。



政治の大きな役割は困っている方を救うことです。私は夫婦別氏の強制には反対です。今の同氏の義務付けにも賛成できません。結婚してからの氏をどうするか、それはそれぞれの個人が判断すべきです。選択的夫婦別氏制度の実現に向け、さらにアクセルを踏みます。

(写真：選択的夫婦別氏制度を求める高松市民の会「ぼそぼその会」の方々と@三宅しんご事務所)



## V. ふるさと香川

### ① G7サミット関係閣僚会議

外務省と香川県は縁が薄いと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはありません。

例えば2023年、日本でG7サミット（主要7カ国首脳会議）が開催予定です。これにあわせて関係閣僚会議が各地で開かれます。香川県も閣僚会議の招致に動いており、浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長、県議会議員らが岸田首相、林外相らに直接、要望しました。私の所掌であり、浜田知事らから外務省で熱い思いをお聞かせいただきました（写真）。全国各地の中核都市などが手を挙げており、激しい誘致合戦になっていますが、もし香川に誘致できれば世界に誇れる「瀬戸の島々」を世界にPRできる絶好の機会になります。



（琴平町の関係者@政務官応接室）

### ② 衆議院選挙

2021年秋の衆議院選挙の期間中は残念ながら、ほとんど地元に戻ることができませんでした。北朝鮮によるミサイル発射などの危機対応のため、在京当番を副大臣、政務官らでローテーションを組んでいます。外務省では私以外の政務3役全員が衆議院選挙の候補者となり、私が当番を一手に引き受けたためです。今後はコロナ禍の状況もみながら、地元の皆さまとできる限り意見交換し、国政に反映させて参ります。



### ③ バイパス開通式

#### 道が拓ける

2021年12月18日、国道11号大内白鳥バイパスのうち、1.4キロメートル区間が開通しました。記念式典には香川県のゆるキャラ「親切な青鬼くん」、東かがわ市のヒーロー「てぶくろマン」からも参加。「明るい将来、希望が見えることを道が拓けると言います。バイパスの開通を機にさらに地域経済が元気になることを祈念します」と祝辞を述べました。式典後、開通区間を通り初め。寒風の中、沿道で多くの方が手を振ってくださり、さらに元気に。



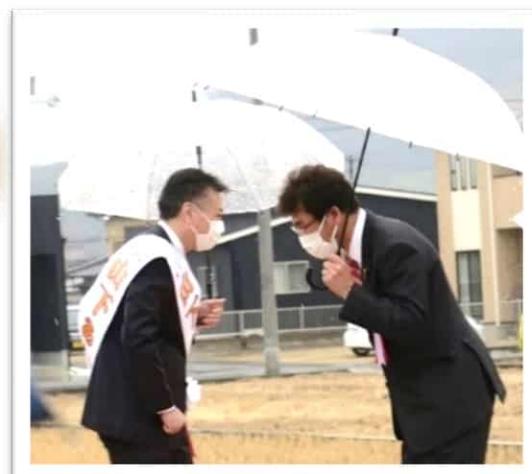
### ④ 市長選挙

昨年秋の観音寺市長選挙では前香川県議会議員の佐伯明浩氏が初当選（写真左）<sup>16</sup>。今年1月の三豊市長選挙では山下昭史氏が再選されました。



心よりお祝い申し上げます。ともに、ふるさと香川を元気にして参りましょう。

（写真右は山下市長の出陣式）



<sup>16</sup> <https://www.city.kanonji.kagawa.jp/site/shicho/>



### ⑤ 党支部・後援会の総会

私が代表を務める自民党支部や後援会「伸友会」（木村斉会長）の総会は、コロナ禍のため2020年は中止となりましたが、去年は感染予防対策を万全に講じ、何とかそれぞれ11月と12月に開催することができました。

後援会総会では高校の恩師である木村会長（写真下左）がミニ落語を披露。後援会副会長に香川県漁業協同組合連合会代表理事・会長の嶋野勝路氏（同右）が就任しました。



生まれ育った、さぬき市末地区の後援会長は長町俊二氏です（写真：草刈り作業現場へ激励@sぬき市末）。皆さまのご期待に応えられるよう更に努力を重ねて参ります。引き続き、ご指導のほど何卒、宜しくお願い申し上げます。



## 自民党员・後援会員を募集

私の政治活動に対し、日頃より、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。私とともに日本の「今」を支え、「未来」を創りましょう。ご加入を心よりお待ちしております。

参議院議員（外務大臣政務官）

三宅伸吾

### 【自民党员】

### 【後援会「伸友会」会員】

- ・年会費 4千円（ご家族 2千円）
- ・自民党総裁選の投票権  
（2年以上の党员継続）
- ・懇親会、国政報告の送付

- ・年会費 1千円
- ・懇親会、国政報告の送付



お問い合わせ

三宅しんご事務所

電話 087-802-3845

[kagawa@miyakeshingo.net](mailto:kagawa@miyakeshingo.net)

外務大臣政務官

自由民主党香川県参議院選挙区第2支部 2022年2月発行